

2021年 4月 (株)三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上速報



三越伊勢丹ホールディングス

2021年5月6日

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしますが、売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来の総売上高で開示いたします。

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4月 - 4月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	781.7%	781.7%
三越日本橋本店 店頭	657.3%	657.3%
三越銀座店	967.6%	967.6%
伊勢丹立川店	568.6%	568.6%
伊勢丹浦和店	745.5%	745.5%



	前年比	4月 - 4月累計
(株)三越伊勢丹 計 ①	746.3%	746.3%

グループ百貨店事業会社	前年比	4月 - 4月累計
札幌丸井三越	250.0%	250.0%
函館丸井今井	159.8%	159.8%
仙台三越	212.7%	212.7%
新潟三越伊勢丹	213.7%	213.7%
静岡伊勢丹	212.9%	212.9%
名古屋三越	229.7%	229.7%
広島三越	221.7%	221.7%
高松三越	244.2%	244.2%
松山三越	75.3%	75.3%
岩田屋三越	417.0%	417.0%

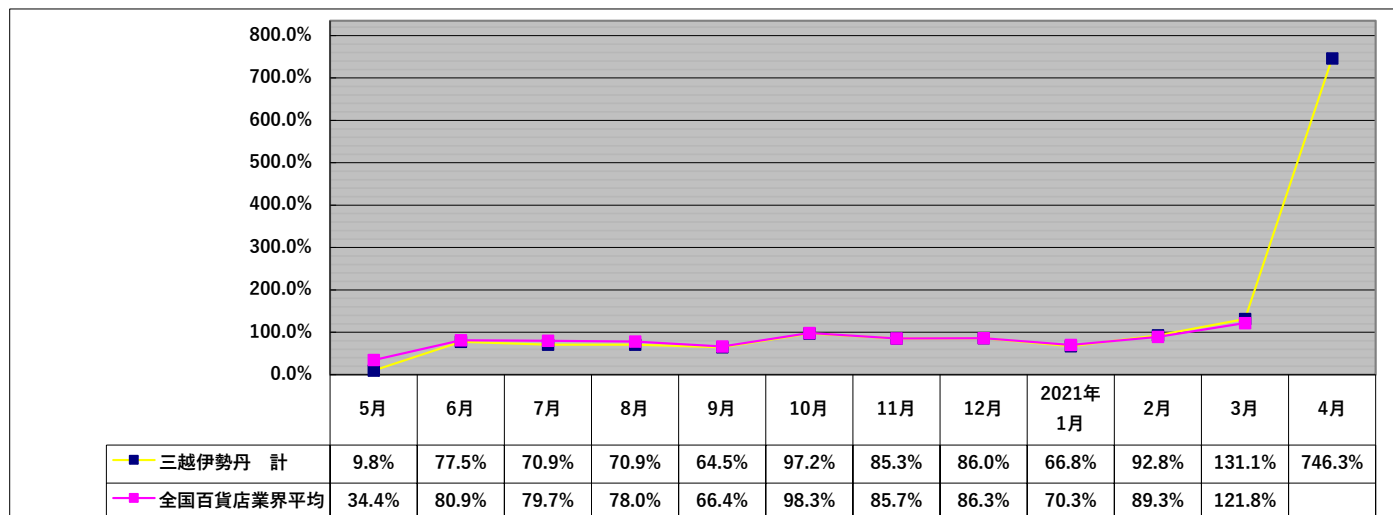


	前年比	4月 - 4月累計
国内グループ百貨店 計 ②	256.5%	256.5%

	前年比	4月 - 4月累計
国内百貨店 計 (①+②)	405.8%	405.8%

過去 1 年間の月別売上高（前年比）推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

※数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店舗の実績です。



概況

- 国内百貨店(既存店舗)の売上は、前年4月8日～5月29日に首都圏(株)三越伊勢丹を全館休業、4月中旬～5月中旬にグループ百貨店を食品フロアのみ営業（一部店舗全館休業、店舗により休業期間は異なる）とした反動もあり、前年実績を大きく上回る。首都圏における売上（免税売上を除く）は前々年比約9割まで回復を見せていたが、4月25日からの緊急事態宣言発出を受け、同地域4店舗（伊勢丹浦和店を除く）を休業（食品・化粧品・その他一部サービス関連を除く）とし、前々年比は(株)三越伊勢丹計で約7割、グループ百貨店計は約8割、併せた国内百貨店計で約8割にとどまった。
- 伊勢丹新宿本店と三越日本橋本店では、引き続き、顧客の高額品への関心が高く、宝飾・時計やラグジュアリーブランドのハンドバッグ等を中心に売上を牽引。また、食品では自宅での時間を充実させたいニーズから牛肉・ホールケーキなどが好調。三越伊勢丹オンラインストアの売上は、母の日のギフト需要の伸びに加え、外出自粛傾向や月末の休業の影響もあり、前々年比で約2倍と好調を維持（前年4月8日～5月6日:オンラインストア休業）。
- 免税売上は、主要3店舗における前年4月実績の反動が大きく国内百貨店合計で前年実績を上回った。

お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】 TEL：03-6730-5003
 【三越伊勢丹ホールディングス IR担当】 TEL：080-1154-4464 / 090-8593-0515